

<p>【技術の名称】 スーパーフィルクリート -無収縮高流動コンクリート- (改定)</p>	<p>性能証明番号：GBRC 性能証明 第 09-01号 改 性能証明発効日：2012年 3月 27日</p> <p>【取得者】 株式会社浅沼組</p>
---	---

【技術の概要】

本技術の無収縮高流動コンクリート「スーパーフィルクリート」は、JIS A 5308 認証取得工場で膨張材を添加したレディーミクストコンクリートに発泡剤（アルミニウム粉末）、収縮低減剤、高性能 AE 減水剤、増粘剤を混和剤として工事現場で後添加し、トラックアジテータ内で攪拌することにより製造される。その特長は、1)高い流動性及び材料分離抵抗性、2)フレッシュ時の適度の発泡作用によりフレッシュコンクリートの沈下が生じにくいこと、3)硬化後の膨張作用によりコンクリートの収縮を抑制することである。このような特長を生かして、耐震補強工事などの後打ちコンクリート工事部分や地下工事での逆打ちコンクリート工事部分の施工に活用するものである。本技術は、2009年5月2日に(財)日本建築総合試験所建築技術性能証明 第09-01号として性能証明されたものであり、今回の改定では、フレッシュコンクリートの自由膨張率の追加、ならびに、コンクリートに用いる粗骨材最大寸法の追加を行っている。

【技術開発の趣旨】

耐震補強工事などの後打ちコンクリート工事部分及び地下工事での逆打ちコンクリート工事部分などでは、その打継ぎ部分に隙間が生じやすく、後工程として無収縮グラウトや無収縮モルタルなどによる注入作業を必要とする場合が多い。こうした後工程作業をなくして構造体を確実に構築できれば、工期だけでなく経済的な面でも合理的である。本技術は、先行技術のフィルクリートにおける実績^{*1}を踏まえながら、外付けの枠付き鉄骨ブレース耐震補強工事の間接接合部に打設するモルタルの代替などにも使えるよう、流し込みによる打設を前提として、スランプフロー60cmの高流動性と、市販の無収縮モルタルと同程度以上の無収縮性が発揮できることを意図して開発したものである。

*1 耐震壁の増設、壁の増厚及び狭隘な隙間への充填など

【性能証明の内容】

申込者が提案する製造・施工要領書に従って製造・施工された無収縮高流動コンクリートは、その目標性能に示した、施工性、圧縮強度、収縮性及び耐久性の性能を有すると判断される。

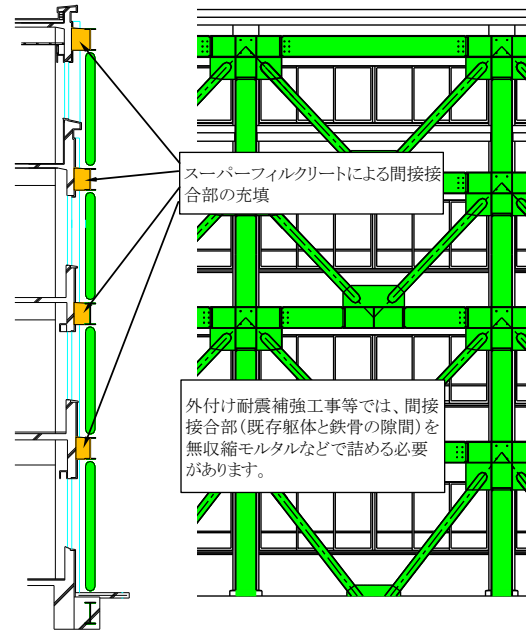


図1 スーパーフィルクリートの使用例

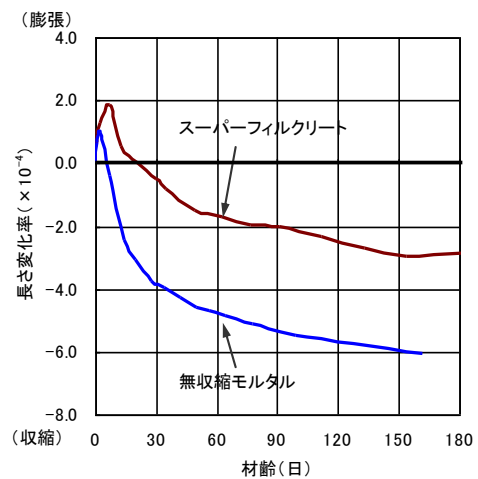


図2 スーパーフィルクリートの長さ変化試験例

【本技術の問合せ先】

株式会社浅沼組 技術研究所 担当者：立松 和彦 E-mail：tatematsu-kazuhiko@asanuma.co.jp
 〒569-0034 大阪府高槻市大塚町 3-24-1 TEL：072-661-1620(代表) FAX：072-661-1730